

## さんさんサークル主催 「発達の多様性を理解する学習」が開催されました

6月15日(土)プラチナセンターに本山町内外から約50の方が集まり、「発達の多様性を理解する学習会」(さんさんサークル主催)が開催されました。

発達障害について当事者・当事者家族・支援者らが「知る」「学ぶ」場が本山町にも身近にあったらいいの！という願いをもとに、昨年8月にさんさんサーク



ルが生まれました。まだ組織化はされていませんが、発達障害を持つ当事者やその家族が集まって話をしたり、地域相談支援専門員さんにコーディネーターとして加わっていただき、いろいろな情報を得ながら、支え合い活動をしています。

現在月1回のペースで保育所の子育て支援センターに、当事者・当事者家族・保健師・専門相談員・保育士や地域の方が集まり、近況を語りあったり、学んだりしています。

こうして、聞きあい、語り合い学べる仲間を増やし「発達障害について理解者を1人でも増やしていけたらみんなが生きやすい町になるよね！」とその輪を広げようとしています。

ほんじょうきんじ

その第一歩として、発達障害に長年関わってこられたJA高知病院小児科医長の本浄謹士先生をお招きし「学習会ができればいいね！」と計画をしたところ、快諾していただき今回の開催に至りました。本浄先生は、小児科医師として、子どもの発達相談や、課題を抱える子どもの医療的支援に関わっておられます。



(左) 地域相談支援専門員 田岡香織氏  
(右) J A高知病院小児科医長 本浄謹士先生

今回は「発達の多様性・神経発達症の捉え方」と題し、発達障害について丁寧にご講演いただきました。後半は「シンポジウム・支援ってなあに？」と題し、発達障害当事者・当事者家族・支援者がそれぞれの立場で感じ・考えたことを発表し合いました。シンポジウムを通して「発達障害・支援」についてさまざまな感じ方・捉え方・思いがあることを知ってもらうことができたのではないかと思います。

さんさんサークルが本山町に生まれ、大事な1

歩を踏み出したことはとても貴重なことだと思います。私たちは、こうして語り合っ、聞きあって学べる仲間を増やしていき、周りの理解者を1人でも増やしていけるよう、仲間と共に今後も活動を続けていきたいと思っています。

● 問い合わせ先 ○本山保育所 ☎76-3003